会議録

会議名称	令和6年度府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議(書面開催)
議題	議事 議案第1号 座長の選出について 報告第1号 第2期府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組とKPIの推移について
議決基準日	令和6年11月29日(金曜日)
書面表決書提出委員	上之園 公子 委員、倉本 一成 委員、酒井 賢児 委員、新宅 祐也 委員、田中 千里 委員、中村 順子 委員、原田 悟 委員、益村 泉月珠 委員、山下 千春 委員 (五十音順、計9名。全委員から提出)
所管部課名	総務企画部政策企画課
会議の結果及び主要な意見 【議案第1号 座長の選出について】 全委員が事務局案を承認。 座長には、上之園 公子氏が選出された。 【報告第1号 第2期府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組とKPIの推移について】 意見等 ●基本目標1について 委員:子育て支援について、目標達成が多く見受けられ、子育てしやすさについての実績値が非常に高く、誇れる内容。100人当たりの不登校児の割合について、全国的に増加傾向にあるのと同様に府中町も年々増加傾向にある。本件KPIの目標値と実績値が乖離しているため、学校運営改善推進事業の対応について適切かどうか、検討が必要。 ●基本目標3について 委員:ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業についての参加者数やぴーすくるの実績値が伸びている点は評価できる。一方で、ぴーすくる利用者の属性を知ることも重要と考える。 ●基本目標4について 委員:情報発信について、届けたい人・属性(町民)に届く仕組みが必要。双方向のコミュニケーションを考える場合、町民の声が届き、役場の声が届くアプリ等の利用を検討しても良いのではないかと。	

委員：府中町の認知度(県内居住者Webアンケート)については、府中町の魅力として何が認知されており、何が認知されていないにつながる調査項目を精査していくことが必要。同様に、まち記者による情報発信回数についても、回数という量的な目標値も重要だが、その内容がどの世代に有効であったかという質的な面についても測定できるような方法を検討され、目標値と実績値を調査することも必要。

●全体を通して・その他

委員：今期の目標値と実績値の結果から、目標値に近づくことができるように取り組みを進める必要のある項目と、目標値そのものの設定が高すぎるために実績値が到達できないものについて検討していく必要がある。また、実績値が目標値を大きく上回っているものについても、その結果を検討する必要がある。例えば、基本目標3のぴーすくる利用者数のように目標値に対する実績値が激増しており、一定の成果が顕著な場合、この結果を踏まえて、町内の企業と連携(企業名や宣伝を表示し、広告料を経費の一部に充当)するなど、総合戦略の結果を新たな方向への手がかりとして活用することも良いかと思う。

委員：第2期総合戦略においては、若い年代の「転入増・転出減」を目指すこととし、子育て支援の充実・強化やまちの魅力発信など、「転入増」に繋がる施策を実施されている。これらの施策に加えて、県外からも直接的に人を呼び込むために、移住・定住施策についても総合戦略に位置づけて推進してはどうか。

委員：最近は結婚をしたいと言う若者が減っていると思う。自分で働いて好きにお金を使えるし、家庭を築く戸惑いを若者は多く感じているのでは。独身の方に結婚したいと思える環境づくりが大事ではないか。

委員：子どもたちは昔も今も外に出て、仲間とおしゃべりしたり、元気に走りまわりたいと考えていると思うが、現在は親の仕事などの事情で室内での遊びに制限されるケースが多くなっていると感じる。信頼できるサポートセンター等が充実していれば、保護者は安心して仕事に集中でき、子どもたちは異なる年齢との交流ができると思う。また、これまで約20年間府中町内・近郊の小・中学生のメンバーで、環境・社会貢献等についての活動を行ってきた経験から、勉強だけでなく、子どもの時の様々な体験が人格形成に重要であると感じている。

いただいたご意見等を踏まえながら、次期総合戦略の策定を進めてまいります。